

令和3年度岡山県公立学校 教員採用候補者選考試験 実施要項

岡山県教育委員会

目次

1	目的	P. 1	13	採用候補者の勤務校	P. 15
2	求める教員像	P. 1	14	その他	P. 15
3	受験資格	P. 1			
4	選考する校種・職種及び採用候補者見込数	P. 2		提出書類記入上の注意	P. 17
5	出願手続	P. 3		受験票	P. 20
	電子申請による出願要領	P. 5		受験願書	P. 22
6	選考試験の実施日及び会場	P. 6		受験登録カード	P. 24
7	選考試験の日程・内容及び携行品等	P. 7		特別選考調書	P. 26
8	特別選考試験	P. 9		特別選考調書(C①、C②用)	P. 27
9	選考基準等	P. 13		自己推薦書	P. 28
10	選考結果の通知	P. 14		お答えします あなたの質問	P. 30
11	選考結果の情報提供	P. 15		郵送又は持参による出願用チェック表	P. 33
12	補欠	P. 15		会場案内図	P. 34

この試験についての問い合わせ先

岡山県教育庁教職員課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

電話(086)226-7915

1 目 的

この選考試験は、令和3年度の岡山県公立学校（岡山市立学校を除く。）教員の採用候補者の選考資料とするため、岡山県教育委員会が実施する。

2 求める教員像

岡山県の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教員

- 本県の教育課題である学力向上や徳育、生徒指導に関する確かな指導力のある人
- 地域の教育資源の活用やキャリア教育により、学ぶ楽しさや学ぶ意味を伝える人

強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教員

- 本気で子どもたちと関わる中で、教員としての喜びや意義を見いだせる人
- 子ども一人一人の良さを認めて、子どものやる気を引き出すことができる人

多様な経験を積む中で協働して課題解決に当たるなど、生涯にわたって学び続ける教員

- 多様な経験や校内外での研鑽により、専門性やコミュニケーション能力を高める人
- チームの一員として協働する中で、自ら行動するとともに他者にも働き掛け、必要に応じて支援しようとするリーダーシップを発揮して課題解決に当たることができる人

3 受験資格

次の各号のいずれにも該当する者

- (1) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
- (2) 出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状所有者又は令和3年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者

ただし、次の表に示す校種・職種を受験する者については、それぞれ示した出願要件を全て満たすこと。

（表中の教諭普通免許状所有者については、令和3年3月31日までに取得見込みの者を含む。）

校種・職種等	出願要件
高等学校教諭等の公民	(7) 高等学校公民の教諭普通免許状所有者 (4) 高等学校地理歴史の教諭普通免許状所有者
特別支援学校教諭等	(7) 特別支援学校、盲学校、聾学校、養護学校のいずれかの教諭普通免許状所有者 (4) 小学校、中学校、高等学校のいずれかの教諭普通免許状所有者
小学校教諭等（理数枠）	(7) 小学校教諭普通免許状所有者 (4) 中学校理科、高等学校理科、中学校数学、高等学校数学のいずれかの教諭普通免許状所有者
小学校教諭等（英語枠）	(7) 小学校教諭普通免許状所有者 (4) 次のいずれかに該当する者 ・ 中学校英語又は高等学校英語の教諭普通免許状所有者 ・ 実用英語技能検定（(公財) 日本英語検定協会）2級以上合格者 ・ TOEFL (iBT) 57点以上取得者（平成30年7月4日以降に受験したもの。） ・ TOEIC L&R 520点以上取得者（平成30年7月4日以降に受験した、公開テストによるスコアのみが対象。）
小学校教諭等（地域枠） 中学校教諭等（地域枠） 養護教諭（地域枠）	出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状の所有に加え、津山市・高梁市・新見市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町・美咲町で原則として採用後10年以上勤務可能である者
小学校教諭等（社会人枠） 中学校教諭等（社会人枠） 特別支援学校教諭等（社会人枠）	出願する校種、教科等の教諭普通免許状の所有に加え、同一の民間企業、官公庁等（教職以外）において、正規職員として2年以上継続勤務しており、出願時も勤務している者
中学校教諭等と高等学校教諭等の併願	<u>国語、数学、英語、保健体育、音楽、美術、家庭の教科（科目）のみ併願可。</u> ただし、併願する教科（科目）は同一であること。 (7) 中学校の当該教科（科目）の教諭普通免許状所有者 (4) 高等学校の当該教科（科目）の教諭普通免許状所有者 ※ 中学校教諭等（地域枠）又は中学校教諭等（社会人枠）を第1志望とする場合、並びに「 8 特別選考試験」（P.9）に出願する場合は、併願不可。中学校教諭等（地域枠）又は中学校教諭等（社会人枠）を第2志望とすることも不可。

なお、高等学校の美術は、デザインの教諭普通免許状所有者も出願が可能である。

※ いずれの免許状についても**教員資格認定試験による取得見込みは除く。**

- (3) 昭和36年4月2日以降に生まれた者
- (4) 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの者は、身体に障害のある者を対象とした選考に出願することができる。

4 選考する校種・職種及び採用候補者見込数

校種・職種	採用候補者見込数	教科(科目)等の区分	区分別の採用候補者見込数
小学校教諭等 〔小学校教諭等(理数枠) 小学校教諭等(英語枠) 小学校教諭等(地域枠) 小学校教諭等(社会人枠)〕	200名 〔25名 30名 25名 20名〕		
中学校教諭等 〔中学校教諭等(地域枠) 中学校教諭等(社会人枠)〕	100名 〔15名 10名〕	国語 語学 音楽 美術 家庭 英語 社会 理科 数学 音楽 美術 家庭 英語 保健 体育 家庭 英語	14名 3名 16名 17名 3名 4名 9名 4名 3名 7名
高等学校教諭等	60名	国語 歴史 地理 公民 数学 理科 保健 体育 芸術 家庭 英語 地理 歴史 地理 公民 数学 理科 保健 体育 芸術 家庭 英語 物理 化学 生物 音楽 美術 書道 工業 農業 商業 機械 化学 工業 農業 商業 機械 化学 商情 業報 保護	9名 2名 2名 2名 1名 1名 9名 2名 2名 2名 3名 1名 1名 1名 7名 3名 3名 6名 2名 1名 1名
特別支援学校教諭等 〔特別支援学校教諭等(社会人枠)〕	30名 〔3名〕		
養護教諭 〔養護教諭(地域枠)〕	16名 〔2名〕		
栄養教諭	1名		
合計	407名		
身体に障害のある者を対象とした選考	若干名	身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの者を対象に、上記の全ての校種・職種で選考を行う。	

- 注意 (1) 採用候補者見込数は現時点での予定であり、今後退職者等の状況により変更することがある。
(2) 各枠(理数枠、英語枠、地域枠、社会人枠)の採用候補者見込数は、各校種・職種の採用候補者見込数の内数であり、それぞれの上限とする。
(3) 各枠の採用候補者とならなかった場合でも、出願した校種・職種の中で、枠以外の者と合わせて更に選考し、採用候補者となる場合がある。
(4) 高等学校教諭等の工業については、工業[機械]、工業[化学]及び工業[特別選考D①(専門分野は限定しない)]を合わせた採用候補者見込数である。
(5) 所有免許状に相当する学校種別により、いずれか一つの校種・職種、教科(科目)等を選択すること。
(6) 小学校教諭等、小学校教諭等(理数枠)、小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)、小学校教諭等(社会人枠)、中学校教諭等、中学校教諭等(地域枠)、中学校教諭等(社会人枠)又は高等学校教諭等の区分で採用候補者となった場合でも、特別支援学校に配属される場合がある。
(7) 中学校教諭等、中学校教諭等(社会人枠)又は高等学校教諭等の区分で採用候補者となった場合でも、中等教育学校に配属される場合がある。
(8) 将来、人事異動により、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校の間で、異動する場合がある。

原則として、「[A] 電子申請（インターネット）による方法」で行うこと。

ただし、パソコン、スマートフォンほか、インターネット環境が整っていない場合は、「[B] 郵送又は持参による方法」で行うこと。

※「[A] 電子申請（インターネット）による方法」で入力欄が不足する場合の対応

- ・教員免許状を7種類以上所有（取得見込みを含む。）する場合は、出願校種（教科）・職種のものから優先的に入力し、入力しきれないものについては、別紙（様式自由）にて提出する。
- ・履歴事項が31項目以上ある場合は、高等学校（中等教育学校）卒業以降、順次30項目まで入力し、入力しきれない部分については、受験願書裏面（P.23）の様式に倣い、別紙にて提出する。

[A] 電子申請（インターネット）による方法

(1) 出願方法

電子申請による出願要領（P.5～6）で、詳しい申込手続を確認して出願すること。

※申込みは、一人1回とする。複数回の申込みをしない。

なお、下記の「(5) 郵送又は持参が必要な書類」がある場合は、郵送又は持参すること。また、適切に申請が完了した場合は、「整理番号」を示したメールが登録したメールアドレスに届くので、整理番号は必ず控えておくこと。受験番号及び受験会場の確認の際に必要となる。

(2) 受付期間

令和2年4月23日(木)～令和2年5月18日(月) 午後5時まで

ただし、申請書提出先において受付期間最終日の午後5時までに申請データの到着が確認できない場合は、出願者が受付期間最終日の午後5時までに手続きを完了できても受け付けられないので注意すること。また、添付ファイルの内容等に不備がある場合は受け付けられないことがあるので、十分に確認すること。

なお、締め切り間際になると、電子申請サービスが混雑し、システムに繋がりにくくなるおそれがあるので、早めに出願すること。また、受付期間中であっても、システム管理のため、一時的に使用できないことがあるので注意すること。

※ 電子申請についての問い合わせ先 岡山県教育庁教職員課 電話(086)226-7915

(3) 受験票の作成（試験当日に持参）

受験票は出願者自身が作成する。「実施要項」に綴じてある受験票、又は岡山県教育庁教職員課のホームページから受験票をダウンロードし、はがきの厚さ程度の紙に印刷したものを用いる。

受験番号及び第1次試験会場等の必要事項を記入の上、出願時に添付した写真を貼付し、受験票を完成させる。

受験番号及び第1次試験会場等は令和2年6月12日(金)頃に岡山県教育庁教職員課のホームページに示す。ホームページに自身の受験番号等がない場合は、岡山県教育庁教職員課まで連絡すること。

(4) 返信用封筒の作成（試験当日に持参）※特別選考C①、Gに出願する者は、出願時に郵送又は持参すること。

長形3号(120mm×235mm)の1枚

郵便番号、送付先住所、宛名(最後に必ず「様」を付ける。)を明記し、「簡易書留」と朱書き、404円分切手を貼ったワンタッチシール封筒。送付先住所は、8月5日(水)以降に、第1次試験の結果通知を受け取ることが可能な住所とすること。

(5) 郵送又は持参が必要な書類（※印は、本県所定の用紙）

- (ア) 入力欄が不足する者のみ（教員免許状）：入力できない免許状に関する「校種等」、「種類」、「教科」、「区分」を記したもの
 - (イ) 入力欄が不足する者のみ（履歴事項）：「実施要項」の受験願書裏面に倣い、履歴事項「年月日」「学歴・職歴・賞罰」を記したもの
 - (ウ) 「身体に障害のある者を対象とした選考」に出願する者のみ：身体障害者手帳の写し
 - (エ) 「**8** 特別選考試験」に出願する者のみ：特別選考調書(※)、証明書等
 - (オ) 「小学校教諭等（英語枠）」に実用英語技能検定、TOEFL又はTOEICの受験資格で出願する者及び英語の資格による加点を申請する者（P.14参照）のみ：実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し。第1次試験の筆記試験時に、原本を持参すること。
 - (カ) 写真データを添付できない者のみ：電子申請による出願要領に示す規格の写真（P.6参照）
 - (キ) 特別選考C①及びGの者のみ：(4)で作成した返信用封筒（第1次試験免除のため。）
- 注意：本県所定の用紙(※印)は、岡山県教育庁教職員課のホームページから入手し、印刷したものでも可。

(6) 出願書類（必要な場合のみ）の提出先（校種・職種によって提出先が異なるので注意すること。）

校種・職種	提出先
小学校教諭等 小学校教諭等（理数枠） 小学校教諭等（英語枠） 小学校教諭等（地域枠） 小学校教諭等（社会人枠）	〒708-8510 津山市田町31 津山教育事務所義務教育支援課 TEL (0868)24-8705
中学校教諭等 中学校教諭等（地域枠） 中学校教諭等（社会人枠）	〒700-8678 岡山市北区石関町2-1 岡山教育事務所義務教育支援課 TEL (086)221-7751
高等学校教諭等 特別支援学校教諭等 特別支援学校教諭等（社会人枠） 養護教諭 養護教諭（地域枠） 栄養教諭	〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県教育庁教職員課 TEL (086)226-7915、7581、7582

注意：郵送の場合は、封筒の表に「 教員採用試験出願書類在中」（には、校種（教科）・職種のいずれかを記入）と朱書し、簡易書留で郵送すること（厳守）。

さらに、「[A] (5) 郵送又は持参が必要な書類」を提出する場合は「電子申請」と、「8 特別選考試験」に出願する場合は「特別選考」と朱書すること。

※ 書類の受付期間は、[B] (3) と同様とする。

[B] 郵送又は持参による方法

※電子申請（インターネット）による出願と、郵送又は持参による出願を併用しないでください。

(1) 出願書類の提出先

[A] (6)による。校種・職種によって提出先が異なるので注意すること。

(2) 提出書類等（※印は、本県所定の用紙）

- (ア) 受験票（※）
 (イ) 受験願書（※） (ウ) 受験登録カード（※） (エ) 自己推薦書（※）
 (オ) 「身体に障害のある者を対象とした選考」に出願する者のみ：身体障害者手帳の写し
 (カ) 「8 特別選考試験」に出願する者のみ：特別選考調書（※）、証明書等
 (キ) 「小学校教諭等（英語枠）」に実用英語技能検定、TOEFL又はTOEICの受験資格で出願する者及び英語の資格による加点を申請する者（P.14参照）のみ：実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し。第1次試験の筆記試験時に、原本を持参すること。
 (ク) 特別選考C①及びGの者のみ：返信用封筒[A] (4)による。（第1次試験免除のため。）

注意：本県所定の用紙（※印）は、岡山県教育庁教職員課のホームページから入手し、印刷したものでも可。

なお、(ア)は、はがきの厚さ程度の紙に印刷すること。

注意：上から(ア)～(ク)の順になるように重ねて、封筒に入れること。

(3) 受付期間

令和2年4月23日(木)～令和2年5月18日(月)

持参の場合は、土・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時までとする。

郵送の場合は、令和2年5月18日(月)の消印があるものまで有効とする。なお、簡易書留で郵送せず郵便事故に遭った場合の責任は負わない。

(4) 受験票の交付

受験票は、令和2年6月12日(金)頃に発送する。

6月19日(金)を過ぎても受験票が届かない場合は、岡山県教育庁教職員課まで連絡すること。

(5) 返信用封筒の作成（試験当日に持参）※特別選考C①、Gに出願する者は、出願時に郵送又は持参すること。

作成要領は、[A] (4)による。

電子申請による出願要領（[A]による場合）

- 電子申請による出願手続きは、岡山県電子申請サービスを利用して行います。利用に当たっては、**利用者登録が必要となります**。既に登録している場合は、新規の登録は不要です。

1 事前準備

電子申請による出願手続きには、次のものが必要となりますので、事前に準備しておくこと。

- ① 教員免許状に関する情報
- ② 自己推薦書（P. 28）に記入する内容
 - ・自己アピール [328字以内]
 - ・専門の教科や領域に関して努力していること [164字以内]
 - ・部活動・ボランティア活動・JICAボランティア事業への参加等の内容や実績 [164字以内]
- ③ 高等学校(中等教育学校)卒業以降の学歴・職歴・賞罰に関する情報
- ④ 出願者の顔写真 [画像ファイル] (別途、郵送又は持参による提出も可。)
- ⑤ メールアドレス (登録及び受付完了メールの受信用)

※岡山県教育庁教職員課のホームページにある「入力準備シート」を事前に作成すると、入力の際、複製・貼り付けに活用できます。

2 電子申請の手順

① 実施要項の用意

電子申請を行う前に、「実施要項」(この冊子)をよく読んで、試験の内容を確認すること。(ホームページ上で閲覧している場合は、印刷して手元に置くことをお勧めします。)

② 電子申請サービスの利用者登録

電子申請による手続きを行うには、電子申請サービスの利用者登録（ID及びパスワード取得）が必要となる。下記のページにアクセスし、画面右上にある「利用者登録」から登録を行うこと。(登録には、メールアドレスが必要です。**電子申請サービスから届くメールが受信できるように、各自の責任においてメールの設定を適切に行ってください。**)

※ここで登録したメールアドレスが、そのまま利用者IDになります。

岡山県電子申請サービス (https://s-kantan.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_initDisplay.action)
※岡山県教育庁教職員課のホームページからもアクセスできます。

③ 入力上の注意等

- ・電子申請サービスには、**入力時間が設定されています。入力時間（約50分）を超えると破棄され、再度入力が必要となります**。「操作時間延長」(入力ページの上部にあります。)や、「申込データの一時保存」(入力ページの下部にあります。)を活用してください。一時保存後は、再度ログインし、「一時保存した申込データの読み込み」(入力ページの下部にあります。)を行った後、未入力部分を継続して入力してください。
- ・氏名や住所、文字等を入力する際は、環境に依存しない文字（JIS第一水準漢字又はJIS第二水準漢字）で入力してください。なお、ローマ数字（I、II、…）も環境に依存する文字であるため使用できません。算用数字（1、2、…）に置き換えてください。(利用できない文字例：高、崎など。)

④ 電子申請の実行

②により取得したID及びパスワードを使って、岡山県電子申請サービスにログインする。ログイン後、「令和3年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験」を選択し、「手続き申込」画面に進む。申込画面の指示に従って必要事項を入力する。(検索メニューの「手続き名」に「教員採用候補者選考試験」と入力して「検索」を行ってください。)

最後に、入力内容を確認し、「申し込む」をクリックする。

郵送又は持参が必要な書類がある場合は、別途、期限内に提出すること。

⑤ 審査完了の確認

入力データ及び書類の到着後、添付ファイル及び別途提出する書類等に不備がなければ、6月上旬までに審査完了メールを送るので、随時確認すること。この際、利用者登録時に入力したメールアドレスに誤りがある場合は審査完了の確認ができないので、十分に注意すること。また、メールに記載されている「整理番号」は必ず控えておくこと。整理番号は、受験番号及び受験会場等の確認の際に必要となる。

なお、審査完了のメールと、特別選考の決定とは異なるので注意すること。審査完了のメールが届いた後でも、記載内容に疑義がある場合は、連絡することがある。

3 顔写真について

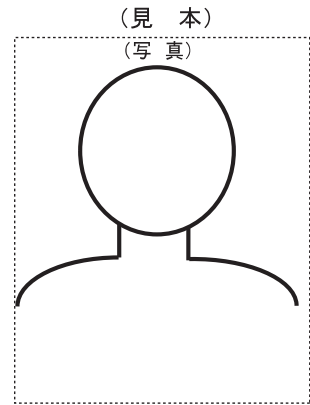
① 電子申請によりデータ添付する場合

電子申請において、次の規格の写真ファイルを添付すること。
ファイル名はローマ字氏名生年月日とすること。

例) 岡山次郎 S63.1.4生 → okayamajiro19880104

【添付写真の規格】

- 本人のみ上半身が撮影されたもの
- 申込前3か月以内に撮影されたもの
- 無帽で正面を向いたもの 背景や影がないもの
- 受験時に眼鏡を着用する場合は、必ず眼鏡を着用したもの
- JPEG又はJPG形式 データサイズは2MB以内
- 縦横比が縦4：横3



② 郵送又は持参する場合

電子申請による出願後すみやかに、次の規格の写真を提出すること。

※ 提出先は【A】(6)、受付期間は【B】(3)と同様とする。
裏面に氏名と生年月日を記入すること。

【提出写真の規格】

- 本人のみ上半身が撮影されたもの 申込前3か月以内に撮影されたもの
- 無帽で正面を向いたもの 背景や影がないもの
- 受験時に眼鏡を着用する場合は、必ず眼鏡を着用したもの 写真の大きさは縦4cm×横3cm

4 申請後に必要な準備

- ・【A】(3)(4)により受験票及び返信用封筒を作成し、試験当日に持参すること。
- ・【A】(5)により郵送又は持参が必要な書類がある場合は、【A】(6)により受付期間内に提出すること。

6 選考試験の実施日及び会場 (P.34参照)

選考試験は、第1次試験及び第2次試験を行う。

受験者が日時の希望や変更をすることはできない。また、第1次試験、第2次試験ともに、受験すべき試験等の一つでも受験しなかった場合は、その後に実施される試験等を受験することはできない。

(1) 第1次試験

実施日： 令和2年7月4日(土)・5日(日)・11日(土)(予備日12日(日))

会場： 第1次試験の試験会場は、「5【A】電子申請(インターネット)による方法」で出願した場合は、岡山県教育庁教職員課のホームページに受験番号と会場を示すので、**受験票の※印の欄に各自で記入すること。**「5【B】郵送又は持参による方法」で出願した場合は、受験票交付の際に指定する。

第1次試験における個人面接の日程は、第1次試験の筆記試験会場に掲示する。

月 日	会 場
7月4日(土)	岡山操山高校、西大寺高校
7月5日(日)	岡山朝日高校、岡山大安寺中等教育学校
7月11日(土) 予備日(12日(日))	倉敷商業高校、岡山県生涯学習センター

(2) 第2次試験

実施日： 令和2年8月16日(日)～19日(水)(予備日20日(木))

会場： 第2次試験の小論文の試験会場は、第2次試験の受験資格を得た者に対し、第1次試験の結果通知の際に指定する。

小論文の試験後に実施する面接、グループワーク、模擬授業(模擬場面指導)・口頭試問、実技の日程及び会場は、小論文の試験会場に掲示する。

月 日	会 場
8月16日(日) 8月19日(水) 予備日(20日(木))	岡山工業高校、東岡山工業高校、岡山南高校、 鳥城高校、岡山県生涯学習センター

【注意】

試験会場及び会場周辺への自家用車の乗り入れ、無断駐車、送迎は固く禁止する。

7 選考試験の日程・内容及び携行品等

(1) 第1次試験

出願者全員（特別選考C①又は特別選考Gの出願者として受け付けた者を除く。）が受験する。
 身体に障害のある者を対象とした選考においては、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。

(7) 試験日程・内容

校種・職種	日 時	7月4日(土) 10:30～14:30	7月5日(日) 9:00～	7月11日(土) 9:00～		
小学校教諭等 〔小学校教諭等(理数枠) 小学校教諭等(英語枠) 小学校教諭等(地域枠) 小学校教諭等(社会人枠)〕		教科専門試験(注1) (100点・60分) ※記述式	面接 (個人面接) (注2)	/		
中学校教諭等 〔中学校教諭等(地域枠) 中学校教諭等(社会人枠)〕						
高等学校教諭等						
特別支援学校教諭等 〔特別支援学校教諭等(社会人枠)〕					特別支援教育に関する専門試験 (100点・60分) ※記述式	面接 (個人面接) (注2)
養護教諭 〔養護教諭(地域枠)〕					養護に関する専門試験 (100点・60分) ※記述式	面接 (個人面接) (注2)
栄養教諭					食育及び学校給食に関する 専門試験(100点・60分) ※記述式	
		教職教養試験 (100点・50分) ※マークシート式				

(注1) 小学校教諭等(理数枠)の教科専門試験の総問題数は、小学校教諭等と同程度であるが、理科又は数学(出願時にいずれかを選択)から出題する割合が高い。なお、選択する教科は、当該免許状を所有(令和3年3月31日までに取得見込みを含む。)している教科に限る。

小学校教諭等(英語枠)の教科専門試験の総問題数は、小学校教諭等と同程度であるが、英語から出題する割合が高い。

(注2) 特別選考A、B、D、Eの受験者は、個人面接に代わり、特別面接を行う。また、特別選考Fの受験者は、個人面接を免除する。なお、全校種・職種における特別面接は、5日、11日、12日のいずれか指定する日で行う。(12日は予備日としているが、特別面接は実施する。)

(4) 試験当日の携行品

対 象 者	携 行 品
全 員	受験票、筆記用具(マークシート用にHBの鉛筆を含む。)、 定規、消しゴム、弁当、上履き、下履きを入れる袋(注3)、 返信用封筒(5[A](4)を参照。)(注4)
小学校(英語枠)	(該当者のみ)証明書等の原本等(5[A]⑤又は[B]②を参照。)
小学校(理数枠)「数学」	コンパス
中学校・高等学校「数学」	コンパス
中学校「技術」	三角定規(目盛りの付いたもの一組)、コンパス、分度器
英語の資格による加点申請者	(該当者のみ)証明書等の原本等(5[A]⑤又は[B]②を参照。)
高等学校「工業[機械、化学]」	電卓(関数機能の付いたもの)※ポケットコンピュータ不可
高等学校「商業」	そろばん又は電卓(計算機能のみのもの)
身体に障害のある者を対象とした選考	身体障害者手帳
特 別 選 考	(該当者のみ)証明書等の原本等(8を参照。)

(注3) 県生涯学習センターが試験会場となった場合、上履き、下履きを入れる袋は不要。

(注4) 特別面接を受験する者は、面接の際に提出すること。

※ 上記以外の物は試験で使用することはできない。

(2) 第2次試験

第2次試験の受験資格を得た者が受験する。

身体に障害のある者を対象とした選考においては、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。

(7) 試験日程・内容

校種・職種	月 日	8月16日(日)	8月17日(月)～8月19日(水)
小 学 校 教 諭 等 〔小学校教諭等(理数枠) 小学校教諭等(英語枠) 小学校教諭等(地域枠) 小学校教諭等(社会人枠)〕		小論文 (60分) (字数は800字以内)	グループワーク 個人面接 実 技(該当者のみ) 模擬授業・口頭試問 ※養護教諭の区分の受験者には、 模擬場面指導・口頭試問を実施する。
中 学 校 教 諭 等 〔中学校教諭等(地域枠) 中学校教諭等(社会人枠)〕			
高 等 学 校 教 諭 等			
特 別 支 援 学 校 教 諭 等 〔特別支援学校教諭(社会人枠)〕			
養 護 教 諭 〔養護教諭(地域枠)〕			
栄 養 教 諭			

(4) 実技の対象者・内容

区 分	対 象 者	内 容
体 育	小 学 校	器械運動、ボール運動
	中 学 校 「 保 健 体 育 」	ラジオ体操、陸上競技、器械運動、球技、武道(柔道又は剣道)、ダンス
	高 等 学 校 「 保 健 体 育 」	ラジオ体操、陸上競技、器械運動、球技、武道(柔道又は剣道)又はダンス
音 楽	中学校・高等学校「音楽」	①全訳コールユーブンゲン(第1巻)No.18～No.35(原書番号)のうちから1曲、No.48～No.59(原書番号)のうちから1曲を当日指定する。 ②「赤とんぼ」、「早春賦」、「夏の思い出」、「花」、「浜辺の歌」のうち、当日指定する歌唱教材をピアノで弾き歌いする。(各自で楽譜を持参してよい。移調も可。) ③アルト・リコーダーによる新曲視奏
美 術	中学校・高等学校「美術」	デッサン、平面構成
書 道	高等学校「書道」	漢字かな交じりの書、漢字、かな
家 庭	中学校・高等学校「家庭」	被服、食物

(5) 試験当日の携行品

対 象 者	携 行 品
全 員	受験票、筆記用具、定規、消しゴム、弁当、上履き、下履きを入れる袋(注5)
小 学 校	体育実技のできる服装、体育館用シューズ(上履きとは別のもの)
中 学 校 ・ 高 等 学 校 「 保 健 体 育 」	体育実技のできる服装、体育館用シューズ(上履きとは別のもの)、屋外シューズ、柔道着(武道で柔道を選択する者)
中学校・高等学校「音楽」	アルト・リコーダー
中学校・高等学校「美術」	水彩絵の具、ポスターカラー、パレット、筆、筆洗、コンパス、はさみ、デッサン用鉛筆、練りゴム又は消しゴム、計り棒(必要とする者のみ)、作業着(必要とする者のみ)、筆ふき用の布
高 等 学 校 「 書 道 」	すずり、墨(墨汁可)、筆(大、中、小、かな用)、下敷(条幅用を含む。)、文鎮、練習用紙
中学校・高等学校「家庭」	裁縫用具、調理のできる服装

(注5)岡山工業高校、鳥城高校又は県生涯学習センターが試験会場となった場合、上履き、下履きを入れる袋は不要。

※ 上記以外の物は試験で使用することはできない。

8 特別選考試験

(1) 受験資格(次の各号のいずれにも該当する者)

- (7) 「3 受験資格」を満たす者。ただし、特別選考A②、A③、Dについては、出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者も出願することができる。
- (4) 各特別選考の出願要件を満たす者。ただし、複数の特別選考に出願することはできない。

(2) 出願手続

5 [A] 又は5 [B] による。5 [A] により出願した者は、各特別選考に係る提出書類を5 [B] (3) の受付期間に郵送又は持参で提出すること。

(3) 審査

特別選考に係る提出書類により審査を行う。

審査の結果、特別選考の対象となった者には、試験の一部免除等の措置を行う。

また、特別選考の対象とならなかった者は、一般の教員採用候補者選考試験の出願者として受け付ける。

(中・高の併願はできない。)

ただし、特別選考A②、A③、Dで出願した者で、一般の教員採用候補者選考試験の出願者として受け付けることができるのは、出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状所有者又は令和3年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者に限る。

なお、書類審査の結果については、受験番号等発表又は受験票送付の際に合わせて発表する。

(4) 特別選考の種別

各特別選考の対象となる校種等や出願要件、提出書類、試験の免除等については、次のとおりとする。

[A①] 特別選考A① [英語の資格による特別選考 (グローバル人材)]

校種等	中学校 (全ての枠を含む。) の英語、高等学校の英語
特別選考 出願要件	実用英語技能検定 ((公財)日本英語検定協会) 1級合格者、TOEFL (iBT) 100点以上取得者又はTOEIC L&R 870点以上取得者 (公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成30年7月4日以降に受験したものに限る。
特別選考に 係る提出書類	・特別選考調書 (5 [A] (5) の(エ)又は5 [B] (2) の(カ) P. 26) ・実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し (第1次試験の面接時に、原本を持参すること。)
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

[A②] 特別選考A② [英語の資格による特別選考 (グローバル人材)]

校種等	高等学校の数学・理科 (物理、化学、生物)
特別選考 出願要件	次の要件を全て満たす者 ① 実用英語技能検定 ((公財)日本英語検定協会) 準1級以上合格者、TOEFL (iBT) 80点以上取得者又はTOEIC L&R 730点以上取得者 (公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成30年7月4日以降に受験したものに限る。 ② 出願する教科 (科目) の高等学校教諭普通免許状を有する者 (令和3年3月31日までに取得見込みの者を含む。) 又は教科に関する専門的な知識・経験又は技能を有する者
特別選考に 係る提出書類	・特別選考調書 (5 [A] (5) の(エ)又は5 [B] (2) の(カ) P. 26) ・実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し (第1次試験の面接時に、原本を持参すること。) ・教科に関する専門的な知識・経験又は技能を有していることを証明できるもの
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。

[A③] 特別選考A③ [英語を母語とする者を対象とした特別選考 (グローバル人材)]

校種等	小学校 (英語専科)、中学校の英語、高等学校の英語
特別選考出願要件	次の要件を全て満たす者 ① 英語を母語とする者 (国籍は問わない。) ② 日本国内の国公私立学校 (学校教育法第1条及び第2条による。) で、英語の指導に関する3年以上の教職経験がある者又は2年以上の教職経験があり出願時も勤務している者 ③ 職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書 (5 [A] (5) の(エ)又は5 [B] (2) の(カ) P.26)
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 第2次試験は、個人面接と模擬授業のみを実施する。
その他	・出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次選考の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。 ・採用に当たっては、採用候補者となった校種と異なる校種に配属又は勤務する場合がある。

[B] 特別選考B [スポーツの実績による特別選考]

校種等	中学校 (全ての枠を含む。) の保健体育、高等学校の保健体育
特別選考出願要件	平成29年4月1日以降、国際レベルの大会 (オリンピック大会、アジア大会等) に日本代表として出場し、8位以上の成績を収めた者又は全国規模の大会 (日本選手権大会、国民体育大会、全日本学生選手権等) においてベスト4以上の成績を収めた者。ただし、いずれの場合も団体種目は正選手であった者に限る。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書 (5 [A] (5) の(エ)又は5 [B] (2) の(カ) P.26) ・大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書 (団体種目の場合は正選手であったことを証明できるもの) ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参すること。
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

[C①] 特別選考C① [講師経験者を対象とした特別選考 (前年度第1次試験合格者)]

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	次の要件を全て満たす者 ① 令和2年度 (令和元年実施) 岡山県公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C [講師経験者を対象とした特別選考] 又は特別選考G [「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考] で受験した者を除く。 ② 令和2年度、常勤講師等、非常勤講師又は臨時学校栄養職員として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者 ※ 「常勤講師等」とは、常勤講師、養護助教諭、(注1) 実習助手 (兼講師の者のみ)、育児短時間勤務のための任期付短時間勤務職員をいう。 ※ 「非常勤講師」は、県費負担の非常勤講師に限る。 ※ 「臨時学校栄養職員」は、令和2年度 (令和元年実施) の試験を「栄養教諭」で受験した者に限る。また、「臨時学校栄養職員」は、非常勤の職員を除く。 ※ 「岡山県の公立学校等」とは、県立の中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び市町村 (組合) 立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校並びに岡山大学教育学部附属の小学校、中学校、特別支援学校をいう。ただし、岡山市立の小学校、中学校は除く。 ※ 「勤務」とは、令和2年4月1日から5 [A] (2) の受付期間の最終日までの間に、勤務実績がある場合をいう。 ※ 特別選考の対象となる校種・職種及び教科 (科目) 等は、(注2) 令和2年度 (令和元年実施) の試験で受験したものと同一 (中高併願で出願した者は、第2次試験の受験資格を得た校種・職種) とするが、(注3) 令和2年度、常勤講師等又は非常勤講師として勤務している学校の校種・職種及び教科 (科目) 等は問わない。 (注1) 「栄養教諭」出願者については、兼講師でなくてもよいものとする。

	<p>(注2) 例：地理歴史（世界史）での第1次試験合格者は、地理歴史（世界史）の特別選考の対象となり、地理歴史（日本史）の特別選考の対象とはならない。</p> <p>(注3) 例：中学校教諭等（国語）の特別選考に出願する場合であっても、令和2年度に勤務している学校は、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校のいずれも可とする。</p> <p>※ 地域枠は、同一校種及び教科（科目）であれば、枠を越えての出願を可能とする。</p> <p>例：小学校</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和2年度試験第1次試験合格校種等</td> <td>令和3年度試験出願可能校種等</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td rowspan="2">小学校又は小学校（地域枠）</td> </tr> <tr> <td>小学校（地域枠）</td> </tr> </table>	令和2年度試験第1次試験合格校種等	令和3年度試験出願可能校種等	小学校	小学校又は小学校（地域枠）	小学校（地域枠）
令和2年度試験第1次試験合格校種等	令和3年度試験出願可能校種等					
小学校	小学校又は小学校（地域枠）					
小学校（地域枠）						
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> 特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.27) 令和2年度（令和元年実施）岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写し 					
試験の免除等	第1次試験を免除する。					

[C②] 特別選考C② [講師経験者を対象とした特別選考（経験年数）]

校種等	全ての校種・職種
特別選考出願要件	<p>次の要件を全て満たす者</p> <p>① 平成28年4月から令和2年5月までの間に、岡山県の公立学校等で、常勤講師等又は臨時学校栄養職員（常勤に限る。）として、(注4) 通算24か月以上の勤務経験を有する者</p> <p>② 令和2年度、常勤講師等、非常勤講師又は臨時学校栄養職員として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者</p> <p>※ 「常勤講師等」、「非常勤講師」、「臨時学校栄養職員」及び「岡山県の公立学校等」の定義については、特別選考C① [講師経験者を対象とした特別選考（前年度第1次試験合格者）] の特別選考出願要件を参照すること。</p> <p>※ 常勤講師等又は臨時学校栄養職員（常勤に限る。）として、経験年数を通算する際の校種・職種及び教科（科目）等は問わない。</p> <p>※ 令和2年度、常勤講師等、非常勤講師又は臨時学校栄養職員として勤務している学校の校種・職種及び教科（科目）等は問わない。</p> <p>(注4) 勤務経験の通算に当たっては、発令期間が月内に1日でもあれば、当該月は経験月として計算する。</p>
特別選考に係る提出書類	特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.27)
試験の免除等	第1次試験において教職教養試験を免除する。

[D①] 特別選考D① [社会人を対象とした特別選考]

校種等	高等学校の工業（専門分野は限定しない）
特別選考出願要件	<p>民間企業、官公庁（教職以外）において、出願時に提出する教科（科目）と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ提出する教科（科目）に関する高度な専門的知識・技能を有する者</p> <p>※ 「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。</p>
特別選考に係る提出書類	<ul style="list-style-type: none"> 特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.26) 出願する教科（科目）に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの（証明機関の発行する資格（技能）証明書（開封無効）又は資格（技能）を証明できる書類の写し（第1次試験の面接時に、原本を持参すること。）。ない場合は提出不要。）
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校工業の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。

[D②] 特別選考D② [社会人を対象とした特別選考]

校種等	高等学校の看護
特別選考 出願要件	看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師（いずれも正規職員）として出願時に3年以上の実務経験を有する者
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.26） ・看護師免許証の写し ただし、第1次試験の面接時に、原本を持参すること。
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	・高等学校看護の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、実務経験を証明する在職証明書を提出すること。

[D③] 特別選考D③ [社会人を対象とした特別選考]

校種等	高等学校の農業
特別選考 出願要件	民間企業、官公庁（教職以外）において、出願時に農業と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ農業に関する高度な専門的知識・技能を有する者 ※ 「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.26） ・農業に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの（証明機関の発行する資格（技能）証明書（開封無効）又は資格（技能）を証明できる書類の写し。ない場合は提出不要。） ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参すること。
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。
その他	・高等学校農業の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。

[E①] 特別選考E① [教職経験者を対象とした特別選考（本県教職経験者）]

校種等	全ての校種・職種
特別選考 出願要件	本県の公立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭（いずれも正規教員）として、2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。）がある者で、出願時に退職日から10年を経過していない者。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.26）
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

[E②] 特別選考E② [教職経験者を対象とした特別選考（県外現職者）]

校種等	全ての校種・職種
特別選考 出願要件	出願時に県外の公立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭（いずれも正規教員）として勤務し、かつ出願時に2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。）がある者。 ※岡山市は含まない。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.26）
試験の免除等	第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。

[F] 特別選考F [「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]

校種等	全ての校種・職種
特別選考 出願要件	平成31（令和元）年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、過去に岡山県（・岡山市）公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Fで受験した者は除く。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.26） ・「教師への道」研修の修了証書の写し
試験の免除等	第1次試験において面接試験を免除する。

[G] 特別選考G [「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]

校種等	小学校（全ての枠を含む。）・中学校（全ての枠を含む。）の理科
特別選考 出願要件	「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラム」を修了した者（令和3年3月31日までに修了見込みの者を含む。）。ただし、過去に岡山県（・岡山市）公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者は除く。
特別選考に係る提出書類	・特別選考調書（5 [A] (5)の(エ)又は5 [B] (2)の(カ) P.26） ・「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し（修了した者のみ）
試験の免除等	第1次試験を免除する。

9 選考基準等

(1) 第1次試験

(7) 選考の方法

教職教養試験、教科専門試験、特別支援教育に関する専門試験、養護に関する専門試験、食育及び学校給食に関する専門試験、面接並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、次の「(4) 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

(4) 主な評価の観点

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○特別面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」 「専門的力量」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

(2) 第2次試験

(7) 選考の方法

グループワーク、個人面接、模擬授業・口頭試問、模擬場面指導・口頭試問、実技、小論文並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、次の「(4) 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

(4) 主な評価の観点

○グループワーク

「コミュニケーション能力」 「社会性、協調性」 「主体性、リーダーシップ」 「問題解決能力」

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問

「児童・生徒の理解」 「教科指導（保健指導）に関する知識・技能の保有」 「使命感、教育的愛情」

「意欲的態度、誠実さ、社会性、協調性」 「発言の明確さ、的確さ」

○実技

（体育） 「技能に対する知識・理解」 「技能の習得の状況」

（音楽） 「音楽の知識・理解」 「表現の技能」

（美術） 「形態、画面構成」 「明暗、配色」 「テーマ性、完成度」

（書道） 「字形」 「構成」 「線質」 「表現力」

（家庭） 「被服・食物に関する技能」 「材料・用具の扱い方、作業態度」

○小論文

「テーマの把握」 「具体性」 「論旨の妥当性」 「表記・表現」

(3) 英語の資格による加点

小学校教諭等（全ての枠を含む。）、中学校教諭等（英語：全ての枠を含む。）及び高等学校教諭等（英語）の出願者のうち、実用英語技能検定（（公財）日本英語検定協会）準1級以上合格者、TOEFL(iBT)80点以上取得者又はTOEIC L&R 730点以上取得者（公開テストによるスコアのみを対象とする。）で、電子申請の該当項目又は受験願書の該当箇所（P.17参照）にて申請をした者に限り、第1次試験の教科専門試験（100点満点）に10点の加点をする。ただし、TOEFLとTOEICについては平成30年7月4日以降に受験したものに限る。なお、申請をする場合は、必ず電子申請の特技・資格欄に入力又は受験願書の英語の資格欄に記入すること。

(4) 選考に当たって考慮する事項

校種・職種等	考慮する事項
全ての校種・職種	部活動・ボランティア活動・JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していること
	学校図書館司書教諭の資格を所有していること
	特別支援学校教諭普通免許状を所有していること
	社会教育主事になりうる資格を所有していること ※ 所有している場合（見込みを含む。）は、必ず電子申請の特技・資格欄に入力又は受験願書の特技・資格欄に記入すること。
小学校教諭等	次のいずれかに該当する者 ①中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）の所有者 ②実用英語技能検定（（公財）日本英語検定協会）2級以上合格者 ③TOEFL(iBT)57点以上取得者（平成30年7月4日以降に受験したもの。） ④TOEIC L&R 520点以上取得者（平成30年7月4日以降に受験した、公開テストによるスコアのみが対象。） ※ 上記②～④に該当する場合は、必ず電子申請の特技・資格欄に入力又は受験願書の英語の資格欄に記入すること。
中学校教諭等	複数教科の中学校教諭普通免許状を所有していること
中学校教諭等(保健体育) 高等学校教諭等(保健体育)	剣道4段以上の段位、又は柔道3段以上の段位を所有していること ※ 所有している場合は、必ず電子申請の特技・資格欄に入力又は受験願書の特技・資格欄に記入すること。
高等学校教諭等(地理歴史)	高等学校教諭普通免許状(公民)を所有していること
特別支援学校教諭等	いずれかの教科の高等学校教諭普通免許状を所有していること

※ 教諭普通免許状及び社会教育主事になりうる資格については、令和3年3月31日までに取得見込みのもの、学校図書館司書教諭の資格については、令和3年3月31日までに必要単位を取得の上、交付申請完了見込みのものを含む。

10 選考結果の通知

第1次試験の結果通知 8月5日(水)午前9時頃	岡山県教育庁教職員課ホームページ(http://www.pref.okayama.jp/soshiki/145/)に第2次試験の受験資格を得た者の受験番号を掲載するとともに、第1次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。
第2次試験の結果通知 10月9日(金)午前9時頃	岡山県教育庁教職員課ホームページに採用候補者名簿に登録された者の受験番号を掲載するとともに、第2次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。

※ 第1次試験、第2次試験ともに、選考結果に関する問い合わせには一切応じない。

※ 結果は簡易書留で送付するので、返信用封筒には確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入しておくこと。7日間以上不在にする場合は、不在届を郵便局に提出することを推奨する。（様式等は日本郵便のホームページで確認すること。）

※ 郵便局による保管期間が過ぎ、岡山県教育庁教職員課へ戻ってきた結果通知については、結果通知日から3か月間保管するので、結果の受け取りを希望する者は、その旨を申し出ること。なお、3か月を過ぎたものについては廃棄する。

※ 完全受験しなかった受験者にも、返信用封筒が提出されている場合は、結果を簡易書留で送付する。

※ ホームページへの受験番号の掲載期間は、結果通知日から10日間とする。

11 選考結果の情報提供

時 期	対 象	内 容
第1次試験の結果通知時	第2次試験の受験資格が得られなかった者	・受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階
第2次試験の結果通知時	第2次試験の受験者	・第1次試験で受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階 ・第2次試験で受験した全ての試験の評価段階

12 補欠

第2次試験の完全受験者で採用候補者とならなかった者のうち若干名を、補欠として決定し、採用候補者に欠員が生じた場合等には、補欠を採用候補者名簿に登録することがある。

補欠の決定の有無は、第2次試験の結果通知と併せて行い、補欠を採用候補者名簿に登録する場合には、対象者に個別に通知する。なお、補欠の有効期間は、令和3年3月31日までとする。

13 採用候補者の勤務校

- (1) 採用候補者名簿に登録され、採用された者は、岡山県内の市町村（組合）立（岡山市立を除く。）の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、岡山県立の中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校のいずれかに勤務する。
- (2) 小学校に出願する場合は、受験願書の「初任地」欄に、岡山県内の26市町村（岡山市を除く。）のうち、自身が配置を希望する1市町村を記入することができる。配置に当たっては、可能な範囲で希望に沿うよう配慮する。ただし、希望の市町村とならない場合がある。（どの市町村でもよい場合は、「どの市町村でもよい」と記入すること。）なお、希望の有無及び選択する市町村は合否に影響しない。

14 その他

- (1) 採用候補者名簿に登録されても、次のいずれかに該当する場合には、採用候補者名簿から抹消する。
 - (7) 令和3年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を欠いていることが判明した場合
 - (4) 教員としてふさわしくない事実が判明した場合
 - (5) 令和3年4月1日時点で、所有している教諭普通免許状が失効している場合又は修了確認期限までに更新講習の修了確認を受けていない場合
 - (E) 大学院修学継続、若しくは教職大学院進学による採用延長（14(4)(5)に示す。）を認められた者が、採用延長期間終了までに修学中の大学院（教職大学院）を修了しなかった場合
- (2) 日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とする。
- (3) 採用候補者名簿の登録の有効期間は、令和4年3月31日までとする。
- (4) 令和3年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者で、大学院において修学中の者が、引き続き大学院での修学を希望する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各大学院の修業年限に合わせて、修了までの1年間又は2年間延長する。
- (5) 令和3年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者が、教職大学院へ進学する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各教職大学院の修業年限に合わせて、2年間又は3年間延長する。
- (6) 補欠として決定され、令和3年3月31日までに、採用候補者名簿に登録されなかった者は、令和3年4月1日から、岡山県の公立学校で常勤講師等として優先的に任用する。
- (7) 他の都道府県の公立学校教員で、本県への転入を希望する者も、この実施要項により受験するものとする（8(4)〔E②〕参照）。
- (8) 身体等の事情により、受験に際して配慮を必要とする場合には、受験願書及び受験登録カードにその旨を記入する。
- (9) 受験願書と受験登録カードの記入事項は一致させること。一致しない事項がある場合は、受験願書の記入事項を優先する。

- (10) 第2次試験の受験資格を得た者は、最終卒業・修了（見込）学校の成績証明書を提出する。（提出先、提出期間等詳細については、第1次試験の結果通知とともに連絡する。）
- (11) 服装については、第1次試験、第2次試験とも、クールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない。)とする。
- (12) 諸般の事情により、やむを得ず試験日程等を変更する場合は、岡山県教育庁教職員課のホームページで知らせる。

提出書類記入上の注意 (5 [B] による場合)

1 受験願書 (P. 22、23)

記入例

令和3年度岡山県公立学校教員		特別選考出願者のみ 記号を記入 ※2		受験願書	受験番号	※	記入しない
校種 職種		教科 (科目)	特別選考	自署欄 この願書の記載事項は真実であり、学校教育法第9条及び 地方教育行政の推進に関する法律各条に該当していません。			
小			理数枠	理	数	5月1日	
中			英語枠			氏名 岡山 次郎	
高		地歴(世界史)	地域枠			氏名のフリガナ オカヤマ ジロウ	
特			社会人枠			カタカナで記入	
身体に障害のある者を対象とした選考				生年月日	昭和63年1月4日生	年齢	33歳
身体等の事情により、受験に際して特に配慮を希望する場合に				性別	男	「男」又は「女」を記入	
受験上の配慮事項				初任地	令和3年4月1日現在で記入		
最終卒業・修了(見込)学校を記入 ・大学院1年生の最終学歴は、大学院 ・教員免許状取得のための通信教育等は、「学歴・職歴・賞罰」欄に記入				国	小学校教諭等出願者のみ記入 どの市町村でもよい場合は 「どの市町村でもよい」と記入		
現住所		岡山県岡山市北		写真欄		実家等、3月中旬以降に確実に連絡可能なところを記入すること。現住所と同じ場合は、「同上」でかまわない。	
令和3年3月中旬以降の連絡先		電話(090)○○○		大学(大学院)等における研究事項等を記入。さらに、受験教科が国語の者は現代文・古文・漢文、地理歴史・公民の者は世界史・日本史・地理、理科の者は物理・化学・生物・地学、家庭の者は被服・食物の中から、それぞれ得意な順に列記。			
専門分野(研究事項)		世界史、地理、日本史		特に秀でたもののみ記入。「選考に当たって考慮する事項」に該当する資格は、必ず記入すること。			
部活動等		中学校	高等学校	大学		危険物取扱者中種	
		野球	サッカー	吹奏楽		TOEIC L&R 900点	
校種等		種類	教科	区分		英語の資格	
高		一種	地歴	所有 取得見込		TOEIC L&R 900点	
特		一種	知・肢・病	所有・取得見込		小・中(英)・高(英)で加点申請する者は○を記入	
所有または、取得見込みの免許状について全て記入 ※5						TOEIC L&R 900点	
						加点点申請 <input checked="" type="radio"/> 有	
						司書教諭資格の有無 有・取得見込 <input type="radio"/> 無	
						教員免許状修了確認(有効)期限 令和3年 3月 31日	
年 月 日		学歴・職歴・賞罰		年 月 日		学歴・職歴・賞罰	
18 3 31		岡山県立◇◇		18 4 1		○○○大学△△学部入学	
18 4 1		○○○大学△△学部入学		22 3 31		○○○大学△△学部卒業	
22 3 31		○○○大学△△学部卒業		22 4 1		自宅(平成22年4月30日まで)	
22 4 1		自宅(平成22年4月30日まで)		22 5 1		◇◇株式会社 事務職員(正規社員 令和3年3月31日までの予定)	
22 5 1		◇◇株式会社 事務職員(正規社員 令和3年3月31日までの予定)		岡山県教育委員会が岡山県公立学校での臨時的任用職員及び非常勤講師の登録を依頼するために、受験願書			
いずれかに必ず○を付ける						<input checked="" type="radio"/> 同意する <input type="radio"/> 同意しない	

- ※1 第1志望で出願する校種・職種を○で囲んだ上で、次のとおり、該当するものについて、記入又は○で囲むこと。
・小学校教諭等(理数枠)の出願者は、理科又は数学のいずれかを選択し、「理」又は「数」のいずれかを○で囲むこと。なお、選択する教科は、当該免許状を所有(令和3年3月31日までに取得見込みを含む。)している教科に限る。
・中学校教諭等、中学校教諭等(地域枠)及び高等学校教諭等の出願者は教科(科目)を記入すること。
ただし、特別選考D①の出願者は教科欄に、「工業(専門分野)」を記入すること。(例)工業(機械)、工業(デザイン)
- ※2 出願する特別選考を記号で記入すること。(例)特別選考A①は「A①」と記入
- ※3 第2志望で中学校教諭等又は高等学校教諭等を併願する者は、第1志望とは異なる校種に○を記入し、第1志望と同じ教科(科目)に○を記入すること。
- ※4 連絡に必要なため、携帯電話等を含め、できるだけ多く記入すること。なお、呼び出しの場合は「○○方」等わかるように記入すること。
- ※5 校種等欄は、小・中・高・特・養護教諭・栄養教諭・盲・聾・養護学校の別を、種類欄は、専修・1種・2種の別を記入すること。また、特別支援学校は、教科欄に、知・肢・病のように、領域を記入すること。

2 受験登録カード (P.24)

(1) 記入例…コード記入の欄 (記入例では、○で囲んでいる。)は、P.19~21を参照。

受験登録カード

1 受験番号 (記入しない)

1	2	3	4

2 受験校種・職種、教科等の区分

校種・職種、教科等の区分		
校種	教科等の区分	
職種		
5	6	7
3	3	1

3 枠

4 特別選考

5 中・高の併願

6 障害者選考

7 受験上の配慮事項

8 氏名

氏名 (漢字・左詰で記入)

14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
岡	山					次	郎								

省略した書き方でよい。

姓と名の間は1字空けること

氏名のフリガナ (カタカナ・左詰で記入)

30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
オ	カ	ヤ	マ		シ			ロ	ウ								

濁点、半濁点は、1字とみなす。

9 性別

10 生年月日

48
1

男性は「1」、女性は「2」記入

(昭和/平成)年	月	日			
49	50	51	52	53	54
6	3	0	1	0	4

「昭和63年1月4日生まれの例」全て2桁の数字で記入

11 最終学歴

先頭から10文字分記入。「学校法人△△学園」等は省略する。

学校名										卒業・修了(見込)年月																	
○ ○ ○ 大学										学校コード	年号	年	月														
55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	
○	○	○	○	大	学																0	1	2	2	3	0	3

12 所有(取得見込)免許状

免許状	(1)	(2) ※								
校種	種類	教科等	取得	校種	種類	教科等	取得			
コード	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91
	3	1	1	8	1					

省略した書き方でよい。

13 教員免許状修了確認(有効)期限

(令和)年	月	日			
92	93	94	95	96	97
0	3	0	3	3	1

全て2桁の数字で記入。取得見込みの場合は空欄でよい。

14 現住所

①郵便番号

98	99	100	101	102	103	104
7	0	0	8	5	7	0

②電話番号(携帯の場合は最初の0を省略)

105	106	107	108	109	110	111	112	113	114
9	0	○	○	○	○	△	△	△	△

15 現職種

115	116
0	8

現職種も含め、直近のものから順に(1)から(3)に3つまで記入する。新規学卒者等で経験職種がない場合は記入しない。短期のアルバイト等は記入しない。

16 現勤務先

現勤務先の名称(略称可)を例にならって先頭から8文字分記入。非常勤講師で兼務している場合、「週当たり時間数の最も多い学校外○校」と記入する。(例)「○○高校外2校」

117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132
◇	◇			株	式	会	社								

17 経験職種

(1)	(2)	(3)			
133	134	135	136	137	138
0	8				

18 加点申請

19 希望初任地

20 選考に当たって考慮する事項

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
142	143	144	145	146	147	148	149	150	151
2	2	1	2						1

小学校希望者のみ記入

小、中(英)・高(英)の志望者は必ず記入。英語の資格等による加点を申請する者は「1」、該当しない者は「2」記入

(2) コード

(7) 「2 受験校種・職種、教科等の区分」は、次のコード表により記入すること。

校種・職種	小学校	中学校	高等学校	特別支援	養護教諭	栄養教諭
コード	1	2	3	4	5	6

教科等の区分	コード	教科等の区分	コード	教科等の区分	コード
小学校	1 0	高等学校 地理歴史[世界史]	3 1	高等学校 英語	4 3
中学校 国語	2 0	高等学校 地理歴史[日本史]	3 2	高等学校 家庭	4 4
中学校 社会	2 1	高等学校 地理歴史[地理]	3 3	高等学校 農業	4 5
中学校 数学	2 2	高等学校 公民	3 4	高等学校 工業[機械]	4 6
中学校 理科	2 3	高等学校 数学	3 5	高等学校 工業[化学]	4 7
中学校 音楽	2 4	高等学校 理科[物理]	3 6	高等学校 工業 ※特別選考D①	4 8
中学校 美術	2 5	高等学校 理科[化学]	3 7	高等学校 商業	4 9
中学校 保健体育	2 6	高等学校 理科[生物]	3 8	高等学校 情報	5 0
中学校 技術	2 7	高等学校 保健体育	3 9	高等学校 看護	5 1
中学校 家庭	2 8	高等学校 芸術[音楽]	4 0	特別支援学校	6 0
中学校 英語	2 9	高等学校 芸術[美術]	4 1	養護教諭	7 0
高等学校 国語	3 0	高等学校 芸術[書道]	4 2	栄養教諭	8 0

(4) 「3 枠」は、次のコード表により記入すること。

該当なし	9	理数枠(数学)	2	地域枠	4
理数枠(理科)	1	英語枠	3	社会人枠	5

(5) 「4 特別選考」は、次のコード表により記入すること。

該当なし	9 9	[C①]講師経験者：1次合格者	0 5	[E①]教職経験者：県内経験者	1 0
[A①]英語の資格：英語	0 1	[C②]講師経験者：経験年数	0 6	[E②]教職経験者：県外現職者	1 1
[A②]英語の資格：理数	0 2	[D①]社会人：工業	0 7	[F]「教師への道」修了者	1 2
[A③]英語を母語	0 3	[D②]社会人：看護	0 8	[G]「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者	1 3
[B]スポーツの実績	0 4	[D③]社会人：農業	0 9		

(I) 「11 最終学歴」の「学校コード」は、次のコード表により記入すること。

学校種	コード	学校種	コード	
国立大学	教員養成課程	0 1	高等専門学校	0 8
	上記以外	0 2	専門学校	0 9
公立大学	0 3	大学院修士課程(教職大学院を除く)	1 0	
私立大学	0 4	教職大学院	1 1	
短期大学(国立・公立・私立の別を問わない)	0 5	大学院博士課程	1 2	
高等学校	0 6	その他	1 3	
指定教員養成機関及び国立養護教諭養成所	0 7			

参考：国立の教員養成系教育学部

北海道教育大学教育学部 弘前大学教育学部 岩手大学教育学部 宮城教育大学教育学部
 秋田大学教育文化学部(教育学部) 山形大学教育学部 福島大学教育学部 茨城大学教育学部 宇都宮大学教育学部
 群馬大学教育学部 埼玉大学教育学部 千葉大学教育学部 東京学芸大学教育学部
 横浜国立大学教育学部(教育人間科学部) 新潟大学教育学部(教育人間科学部) 上越教育大学学校教育学部
 富山大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学類(教育学部) 福井大学教育学部(教育地域科学部)
 山梨大学教育学部(教育人間科学部) 信州大学教育学部 岐阜大学教育学部 静岡大学教育学部
 愛知教育大学教育学部 三重大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部
 兵庫教育大学学校教育学部 神戸大学教育学部 奈良教育大学教育学部 和歌山大学教育学部
 鳥取大学教育地域科学部(教育学部) 島根大学教育学部 岡山大学教育学部 広島大学教育学部(学校教育学部)
 山口大学教育学部 鳴門教育大学学校教育学部 徳島大学教育学部 香川大学教育学部 愛媛大学教育学部
 高知大学教育学部 福岡教育大学教育学部 佐賀大学教育学部(文化教育学部) 長崎大学教育学部
 熊本大学教育学部 大分大学教育学部(教育福祉科学部) 宮崎大学教育学部(教育文化学部) 鹿児島大学教育学部
 琉球大学教育学部

(カ) 「12 所有（取得見込）免許状」は、受験に必要な主たる免許状を一つ(1)に記入すること。ただし、**小学校教諭等（理数枠）**の出願者は、中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの免許状を一つ(2)に記入すること。**小学校教諭等（英語枠）**の出願者のうち、中学校英語又は高等学校英語の免許状所有者はいずれかの免許状を一つ(2)に記入すること。**特別支援学校**の出願者は、基礎となる小学校、中学校又は高等学校のいずれかの免許状を一つ(2)に記入すること。**中・高を併願する場合**は、第2志望の受験に必要な主たる免許状を一つ(2)に記入すること。

「校種・職種」、「種類」、「教科等」及び「取得」は、次のコード表から記入すること。

校種・職種	コード	校種・職種	コード
小学校	1	栄養教諭	6
中学校	2	盲学校	7
高等学校	3	聾学校	8
特別支援学校	4	養護学校	9
養護教諭	5		

種類	コード
1種	1
2種	2
専修	3

取得	コード
所有	1
取得見込	2

教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード	教科等	コード
小学校	01	理科	06	技術	11	商業	16	福祉	21
養護教諭	02	音楽	07	家庭	12	外国語(英語)	17	保健	22
国語	03	美術	08	情報	13	地理歴史	18	公民	23
社会	04	保健体育	09	農業	14	書道	19	栄養教諭	24
数学	05	看護	10	工業	15	デザイン	20		

(キ) 「15 現職種」は、次のコード表から記入すること。

職種	コード	職種	コード
本県公立学校の正規職員	01	私立学校の職員	07
他県公立学校の正規職員	02	学校勤務以外の正規職員（経験3年以上）	08
本県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	03	学校勤務以外の正規職員（経験3年未満）	09
他県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	04	新規学卒者（新規の院卒も含む。）	10
本県公立学校の非常勤職員	05	大学院1年生	11
他県公立学校の非常勤職員	06	その他	12

(ク) 「17 経験職種」は、次のコード表から記入すること。

職種	コード
本県公立学校の正規職員	01
他県公立学校の正規職員	02
本県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	03
他県公立学校の臨時的任用職員（常勤講師）	04
本県公立学校の非常勤職員	05
他県公立学校の非常勤職員	06
私立学校の職員	07
学校勤務以外の正規職員（経験3年以上）	08
学校勤務以外の正規職員（経験3年未満）	09
その他	10

(ケ) 「19 希望初任地」は、次のコード表から記入すること。

市町村名	コード	市町村名	コード
倉敷市	01	和気町	15
津山市	02	早島町	16
玉野市	03	里庄町	17
笠岡市	04	矢掛町	18
井原市	05	新庄村	19
総社市	06	鏡野町	20
高梁市	07	勝央町	21
新見市	08	奈義町	22
備前市	09	西粟倉村	23
瀬戸内市	10	久米南町	24
赤磐市	11	美咲町	25
真庭市	12	吉備中央町	26
美作市	13	どの市町村でもよい	99
浅口市	14		

きりとりせん

令和3年度岡山県公立学校 教員採用候補者選考試験 (第1次・第2次共通)		受 験 票	
校種 職種	小・中・高・特・養・栄 (科目)	職種 職種	小・中・高・特・養・栄 (科目)
枠 英語・地域・社会人	※ 身体障害のある者を 対象とした選考 ()	特別 選考 ()	※
氏 名			
第1次 試験	日時 令和2年7月4日 10:30集合 (割面数) 令和2年7月 日 ※ 集合	会場	※
第2次 試験	日時 令和2年8月16日 9:15集合	会場	※
【受験上の注意】	1 試験場には必ず本票を持参すること。 (第2次試験にも本票を使用するので、第1次試験の終了後も紛失しないこと。) 2 第1次試験の個人面接の日時・会場は、第1次試験の結果通知の際に指定する。小論文後の試験日時・会場は、小論文の試験会場で提示する。 3 試験会場及び会場周辺への 自家用車の乗り入れ、乗断駐車、送迎は固く禁止する。 4 試験場は禁煙とする。		
出 願 時 間	1 出 願 時 間 は 出 願 票 に 貼 っ た も の と 同 じ		
試 験 日	2 試 験 日 は 出 願 票 に 貼 っ た も の と 同 じ		
写真の裏面に受験番号と氏名を記入)	写真を貼って持参		
受験番号	※		

(ケ) 「20 選考に当たって考慮する事項」(P.14) は、次のコードにより記入すること。

(1)部活動・ボランティア等の幅広い経験	有	1	無	2				
(2)学校図書館司書教諭の資格	有	1	無	2	見込	3		
(3)特別支援学校教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		
(4)社会教育主事になりうる資格	有	1	無	2	見込	3		
小学校教諭等志望者のみ記入								
(5)中学校(英語)又は高等学校(英語)の教諭普通免許状	中	1	高	2	両方	3	無	4
小学校教諭等志望者のみ記入								
(6)英検2級以上、TOEFL(iBT)57点以上、TOEIC L&R 520点以上のいずれか	有	1	無	2				
中学校教諭等志望者のみ記入								
(7)複数教科の中学校教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		
中学校(保健体育)及び高等学校(保健体育)志望者のみ記入								
(8)剣道4段以上又は柔道3段以上	剣	1	柔	2	両方	3	無	4
高等学校(地理歴史)志望者のみ記入								
(9)高等学校(公民)の教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		
特別支援学校教諭等志望者のみ記入								
(10)いずれかの教科の高等学校の教諭普通免許状	有	1	無	2	見込	3		

3 自己推薦書 (P.28)

- (1) **※印欄以外の箇所に記入又は当該項目を○で囲む**こと。
- (2) 記入欄は、各項目ごとに簡潔な文章で記入すること。

4 受験票 (P.20、21)

「きりとりせん」に沿ってはがき大に切ること。
また、**ホームページから印刷する場合は、はがきの厚さ程度の紙に印刷すること。**

(1) 裏面について

- (ア) **※印欄以外の箇所に記入又は当該項目を○で囲む**こと。
- (イ) 「校種・職種等」及び「枠」欄は、該当するものを○で囲むこと。
- (ウ) 中学校教諭等(全ての枠を含む。)又は高等学校教諭等を受験する出願者は、教科(科目)欄に、受験願書の受験区分で記入した教科(科目)と同じものを記入すること。
- (エ) **出願の際には受験票に写真を貼らないこと。(受験票の交付を受けた後に、受験願書に貼った写真と同じものを必ず貼り、試験当日持参すること。)**

(2) 表面について

- (ア) 氏名の欄にある「様」を「行」等に直さないこと。
- (イ) 出願の際には、住所、氏名を明記し、**必ず63円分切手を貼る**こと。

郵便はがき

63円分切手を貼ること



(住所)

(同居先)

方

(氏名)

様

令和3年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験受験願書

受験番号 ※

(該当箇所を記入又は○で囲むこと) 受験区分	第1志望	校種 職種	教科 (科目)	特別選考	自署欄						
		小		理数枠	理・数	この願書の記載事項は真実であり、学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当していません。					
		中		英語枠		(記入年月日) 令和 年 月 日					
		高		地域枠		氏 名					
		特		社会人枠		氏名のフリガナ					
		養 栄		身体に障害のある者を対象とした選考							
第2志望	中 ・ 高	国語 数学 音楽 芸術[音楽] 美術 芸術[美術] 保健体育 家庭 英語	受験上の配慮事項		生年月日	昭和 平成	年 月 日生	年 齢	歳	性 別	
					初任地 <small>(小学校志望者は、希望市町村名を記入する)</small>			国籍 <small>(日本国籍以外の者は、国籍を記入する)</small>			
最終学歴	大学 ・ 大学院		学部 ・ 研究科 ・ 養成所	科 ・ 課程	専攻	昭和 平成 令和	年 月	卒業・卒業見込 修了・修了見込			
現住所	〒 -								写 真 欄 1. 写真は4cm×3cmで3か月以内に撮影した脱帽、正面、上半身のものを貼ること。 2. 受験票の交付後、受験票にも同じ写真を貼ること。 ※写真の裏面に氏名を記入		
令和3年3月中旬以降の連絡先	〒 -										
電話() - () -	電話() - () -										
専門分野 (研究事項)											
部活動等	中学校			高等学校			大学		指導できる部活動		
教員免許状	校種等	種類	教科	区 分	特 技 ・ 資 格				英 語 の 資 格	加点申請 有	
				所有・取得見込							
				所有・取得見込							
				所有・取得見込							
				所有・取得見込							
				所有・取得見込							
					司書教諭資格の有無		有・取得見込・無				
					教員免許状修了確認(有効)期限		令和 年 月 日				
年 月 日	学 歴 ・ 職 歴 ・ 賞 罰				年 月 日	学 歴 ・ 職 歴 ・ 賞 罰					
	高等学校 卒業 (中等教育学校)										
岡山県教育委員会が岡山県公立学校での臨時的任用職員及び非常勤講師の登録を依頼するために、受験願書に記載した個人情報を利用することについて											
(同意する) ・ (同意しない)											

「提出書類記入上の注意」(P.17)をよく読んで記入すること。

※ 育児・病気等による休業、懲戒処分等がある場合は、学歴・職歴・賞罰の欄に記入すること。

受験登録カード

1 受験番号
(記入しない)

1	2	3	4

2 受験校種・職種、教科等の区分

校種・職種、教科等の区分			校種 職種	教科等 の区分	
			5	6	7

3 枠

8

4 特別選考

9	10

5 中・高

11

6 障害者

12

7 受験上の
配慮事項

13

8 氏名

氏 名 (漢字・左詰で記入)															
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

氏名のフリガナ (カタカナ・左詰で記入)																	
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47

9 性別

48

10 生年月日

(昭和) (平成) 年		月		日	
49	50	51	52	53	54

11 最終学歴

学 校 名																卒業・修了(見込)年月											
																学校コード											
																年号	年	月									
55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	

12 所有(取得見込)免許状

免許状 コード	(1)				(2) ※					
	校種 職種	種類	教科等	取得	校種 職種	種類	教科等	取得		
	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91

※小学校(理数枠)、小学校(英語枠)、高等学校(公民)、特別支援学校の区分で受験する場合は、(2)も記入

13 教員免許状修了確認(有効)期限

(令和) 年		月		日	
92	93	94	95	96	97

14 現住所

①郵便番号						
98	99	100	101	102	103	104

②電話番号(携帯の場合は最初の0を省略)									
105	106	107	108	109	110	111	112	113	114

15 現職種

115	116

16 現勤務先

117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132

17 経験職種

(1)	(2)	(3)			
133	134	135	136	137	138

18 加点申請

139

19 希望初任地

140	141

20 選考に当たって考慮する事項

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
142	143	144	145	146	147	148	149	150	151

「提出書類記入上の注意」及び「受験登録カード(記入例)」(P.18~21)をよく確認して記入すること。

特別選考調書(P.26)記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと。
 - 2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例)特別選考A①の場合は、「A①」と記入
 - 3 I・II欄、【大学担当者の証明】欄、【所属長の推薦】欄及び【講師経験】欄について
 - (1) 特別選考A①[英語の資格による特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。
 - II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。
 - (2) 特別選考A②[英語の資格による特別選考(高等学校の数学・理科(物理、化学、生物))]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。
 - II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。
また、出願する校種・職種、教科(科目)に関する免許状を有しない場合は、出願する校種・職種、教科(科目)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。
 - (3) 特別選考A③[英語を母語とする者を対象とした特別選考]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び任用種別(教諭、常勤講師、非常勤講師等)を記入すること。
 - II 何も記入しないこと。
 - (4) 特別選考B[スポーツの実績による特別選考(中学校・高等学校の保健体育)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす大会名(開催年月)、成績を記入すること。
 - II 専門競技種目名、所属チーム名、資格(スポーツに関する資格(日体協公認資格等))、大学入学以降の主な競技歴(国際レベルの大会又は全国規模の大会について、その大会名、成績、役職、ポジション、その他特記事項)を記入すること。
 - (5) 特別選考D①[社会人を対象とした特別選考(高等学校の工業)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における出願する教科(工業)に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。
 - II 工業に関する教諭普通免許状を有しない場合は、工業に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。
 - (6) 特別選考D②[社会人を対象とした特別選考(高等学校の看護)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)としての勤務歴について、勤務先及び在職期間(年月日)を記入すること。
 - II 看護に関する教諭普通免許状を有しない場合は、看護に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。
 - (7) 特別選考D③[社会人を対象とした特別選考(高等学校の農業)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における出願する教科(農業)に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。
 - II 農業に関する教諭普通免許状を有しない場合は、農業に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。
 - (8) 特別選考E①[教職経験者を対象とした特別選考(本県教職経験者)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、本県の公立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。なお、現に県外の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)の職にある者については、現任校も含めて、記入すること。
 - II 何も記入しないこと。
 - (9) 特別選考E②[教職経験者を対象とした特別選考(県外現職者)]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、県外の公立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴(現任校を含む。)について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。
 - II 何も記入しないこと。
 - (10) 特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]の場合
 - I 何も記入しないこと。
 - II 「教師への道」研修で学んだことや感想を記入すること。
 - (11) 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]の場合
 - I 特別選考試験の出願要件を満たす、理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修(予定)期間を記入すること。
 - II 何も記入しないこと。
- 【大学担当者の証明】 出願時に修了見込みの者は、現在履修中の大学担当者が作成したものを提出すること。

特別選考調書(P.27)記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと。
- 2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例)特別選考A①の場合は、「A①」と記入
- 3 【講師経験】欄及び【所属長の推薦】欄について
 - (1) 特別選考C①[講師経験者を対象とした特別選考(前年度第1次試験合格者)]の場合
 - 【講師経験】 岡山県の公立学校等における平成30年4月1日から令和2年5月18日までの勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員、臨時学校栄養職員、非常勤講師)を記入すること。
 - 【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和2年4月1日から5[A](2)の受付期間の最終日(令和2年5月18日)までの間に所属した直近の勤務校の所属長が作成したものを提出すること。
 - (2) 特別選考C②[講師経験者を対象とした特別選考(経験年数)]の場合
 - 【講師経験】 岡山県の公立学校等における平成28年4月1日から令和2年5月18日までの常勤講師等(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員)及び臨時学校栄養職員(常勤に限る。)としての勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別を記入すること。
 - 【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和2年4月1日から5[A](2)の受付期間の最終日(令和2年5月18日)までの間に所属した直近の勤務校の所属長が作成したものを提出すること。

令和3年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験

特別選考調書

※P.25の（記入上の注意）を参照し、記入すること。

特別選考 の区分		フリガナ 氏 名	受験番号	※
I				
II				

【大学担当者の証明】（特別選考Gの出願者のうち、出願時に修了見込みの者のみ）

次の者は、「理数系教員養成拠点構築プログラム」を、現在、本学において履修中であることを証明する。

令和 年 月 日

(受験者氏名)

(プログラム履修予定期間)

(大学名)

(担当者名)

印

令和3年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験
自己推薦書

受験番号	※
------	---

校種・職種等 (1つを○で囲む)	小・小(理数)・小(英語)・小(地域)・ 小(社会人)・中・中(地域)・ 中(社会人)・高・特・特(社会人)・ 養・養(地域)・栄	フリガナ 氏名	
---------------------	--	------------	--

項目	記入欄
<p style="text-align: center;">自己アピール</p> <p>(自分の個性や経験をふまえながら、志望する校種・職種への適性等をアピールする。 なお、各枠(理数枠、英語枠、地域枠、社会人枠)の出願者は、それぞれの枠への志望動機やこれまでの活動実績等を必ず記入すること。)</p>	
<p>専門の教科や領域に関して努力していること (小学校の出願者は、音楽(ピアノ等)の技量についても簡潔に触れること。)</p>	
<p>部活動(指導者又は競技者)・ボランティア活動・JICAボランティア事業への参加等の内容や実績(出場大会名、団体内での役割、部活動指導の場合は、部活動指導員、外部指導者等の役職等)</p>	

ICTを活用する能力について、該当するものを○で囲む。

① インターネットを活用して教材や資料を集めることができるか。	(できる・できない)
② ワードプロソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料等を作成することができるか。	(できる・できない)
③ プレゼンテーションソフトや教材提示装置などを活用して資料をわかりやすく説明することができるか。	(できる・できない)

英語力について、該当するものを○で囲む。

① 英語で日常的なあいさつを交わすことができるか。	(できる・できない)
② 英語での日常的な会話の中で、自分の考えを述べるができるか。	(できる・できない)
③ 英語で討論ができるなど、相手と意思の疎通を支障なく図ることができるか。	(できる・できない)

お答えします あなたの質問

(岡山県の公立学校教員をめざす人へ)

質問1 昨年の受験者や採用者の数はどれくらいでしたか。

- 令和2年度(令和元年実施)と平成31年度(平成30年実施)の採用試験結果を紹介しますので、参考にしてください。

〔参考〕令和2年度(令和元年実施)採用試験結果について

区 分	小学校				中学校		高等学校	特別支援学校	養護教諭		栄養教諭	合計	身体に障害のある者を対象とした選考
	小学校	小学校(理数科)	小学校(英語科)	小学校(地域科)	中学校	中学校(地域科)			養護教諭	養護教諭(地域科)			
出願者数	618 (689)	18 (24)	15 (13)	70 (73)	628 (731)	65 (81)	594 (718)	165 (155)	142 (154)	11 (10)	28 (63)	2,175 (2,510)	7 (4)
1次受験者数	578 (521)	15 (20)	14 (10)	68 (65)	551 (573)	57 (73)	523 (600)	158 (142)	129 (132)	9 (10)	24 (44)	1,963 (2,012)	6 (2)
1次合格者数	403 (418)	12 (15)	10 (9)	49 (50)	226 (250)	27 (26)	167 (169)	82 (99)	41 (36)	2 (2)	4 (6)	923 (978)	5 (2)
2次受験者数	347 (378)	11 (14)	7 (7)	48 (49)	204 (229)	26 (26)	161 (162)	78 (96)	41 (35)	2 (2)	4 (5)	835 (905)	5 (2)
採用候補者数	200 (220)	6 (7)	6 (5)	25 (21)	110 (125)	15 (15)	60 (70)	40 (50)	20 (17)	0 (1)	1 (1)	431 (483)	2 (0)
倍率 (1次受験者数 /採用候補者数)		2.9 (2.4)			5.0 (4.6)		8.7 (8.6)	4.0 (2.8)	6.5 (7.8)		24.0 (44.0)	4.6 (4.2)	— (—)

※ ()内は平成31年度(平成30年実施)の数値。(特別選考を含む。)

質問2 「補欠」について教えてください。

- 補欠は、第2次選考において決定します。ただし、教科(科目)等の区分によっては、補欠を決定しない場合もあります。
- 採用候補者(採用候補者名簿に登録された者)が採用を辞退した場合などに、補欠と決定した方を、採用候補者名簿に追加登録する場合があります。
- 補欠と決定した方を、令和3年3月31日までに採用候補者名簿に追加登録しなかった場合には、令和3年4月1日から、常勤講師等として優先的に任用します。

質問3 試験問題は公開していますか。

- 過去の試験問題等(3年間分)を岡山県教育庁教職員課において、公開(一般閲覧)していますので、課内で御覧いただけます。
- 今年度実施の問題については、第1次試験は、令和2年7月14日(火)から筆記試験の問題、解答例・配点を、第2次試験は、令和2年8月21日(金)からグループワークのテーマ、小論文試験の問題、実技試験の問題(問題用紙があるもののみ)を、岡山県教育庁教職員課において御覧いただけます。

質問4 給料、手当はどのようになっていますか。

- 令和2年4月1日現在の給料は、次のとおりです。

	給料月額
大学新卒（教諭採用）	225,264円 (教職調整額8,664円を含む。)

- このほか、勤務内容等によって次の諸手当の制度が設けられています。
 - (1) 教員特別手当、扶養手当、産業教育手当、定通手当、通勤手当、へき地手当、期末・勤勉手当、住居手当等
 - (2) 特別支援学校教員や特別支援学級担当教員には、給料の調整額が別途支給されます。

質問5 試験の日程や会場はいつ分かりますか。

- 第1次試験の筆記試験の会場及び特別面接の会場・集合時刻は、受験票交付の際に指定します。
- 第1次試験における個人面接の日時は、第1次試験の筆記試験会場で掲示します。
- 第2次試験の小論文の試験会場は、第1次試験の結果通知の際に指定します。
- 第2次試験の日程や会場は、第2次試験の小論文の試験会場で掲示します。
- ※ 試験の日程や会場の変更には、一切応じることができません。

質問6 第2次試験のグループワークについて教えてください。

- グループワークでは、当日提示された課題に対して、受験者数名のグループで協力して解決する過程を通して、コミュニケーション能力、社会性、協調性、主体性、リーダーシップ、問題解決能力などを評価します。

質問7 各枠（理数枠、英語枠、地域枠、社会人枠）について教えてください。

- 各枠の採用候補者にならなかった場合でも、出願した校種・職種の中で、枠以外の者と合わせて更に選考し、採用候補者となる場合があります。
- 自己推薦書にて、枠についての志望動機や、枠に関連するこれまでの取組等をしっかりとPRしてください。（地域枠は地域（県北地域に限らない。）における取組等、社会人枠は社会人としての経験をどのように教育に生かしたいかなど。）

<理数枠、英語枠>

- 小学校教諭等（理数枠又は英語枠）は、小学校における理数教育又は英語教育の充実を図るために募集するものですが、理科、算数又は英語のみを担当する教員として採用するものではありません。
- 小学校教諭等（理数枠又は英語枠）の教科専門試験は、総問題数は小学校教諭等と同程度ですが、それぞれの枠によって、理科又は数学（出願時に選択した教科）、又は英語から出題される割合が高くなります。

質問 8 中学校と高等学校の併願について教えてください。

- 国語、数学、英語、保健体育、音楽、美術、家庭の教科（科目）の区分についてのみ、中学校教諭等と高等学校教諭等を併願することができます。
- 中学校教諭等（地域枠及び社会人枠）を第1志望とする場合、並びに「8特別選考試験」に出願する場合は、併願することはできません。また、中学校教諭等（地域枠及び社会人枠）を第2志望とすることはできません。
- 併願で出願した場合で、第2次試験の受験資格を得た方には、第1次試験の結果通知時に、第1志望又は第2志望のいずれの校種で第2次試験の受験資格を得たのかをお知らせします。

質問 9 令和3年3月31日に免許状の修了確認期限を迎えますが、更新講習を受けていなくても出願できますか。

- 更新講習を受けていなくても出願はできますが、令和3年4月1日以降、教壇に立つためには、30時間以上の更新講習を受講し、令和3年1月31日までに所定の都道府県教育委員会に修了確認申請を行う必要があります。修了確認期限までに更新講習の修了確認を受けなかった場合は、採用候補者名簿に登録されていても登録を抹消します。

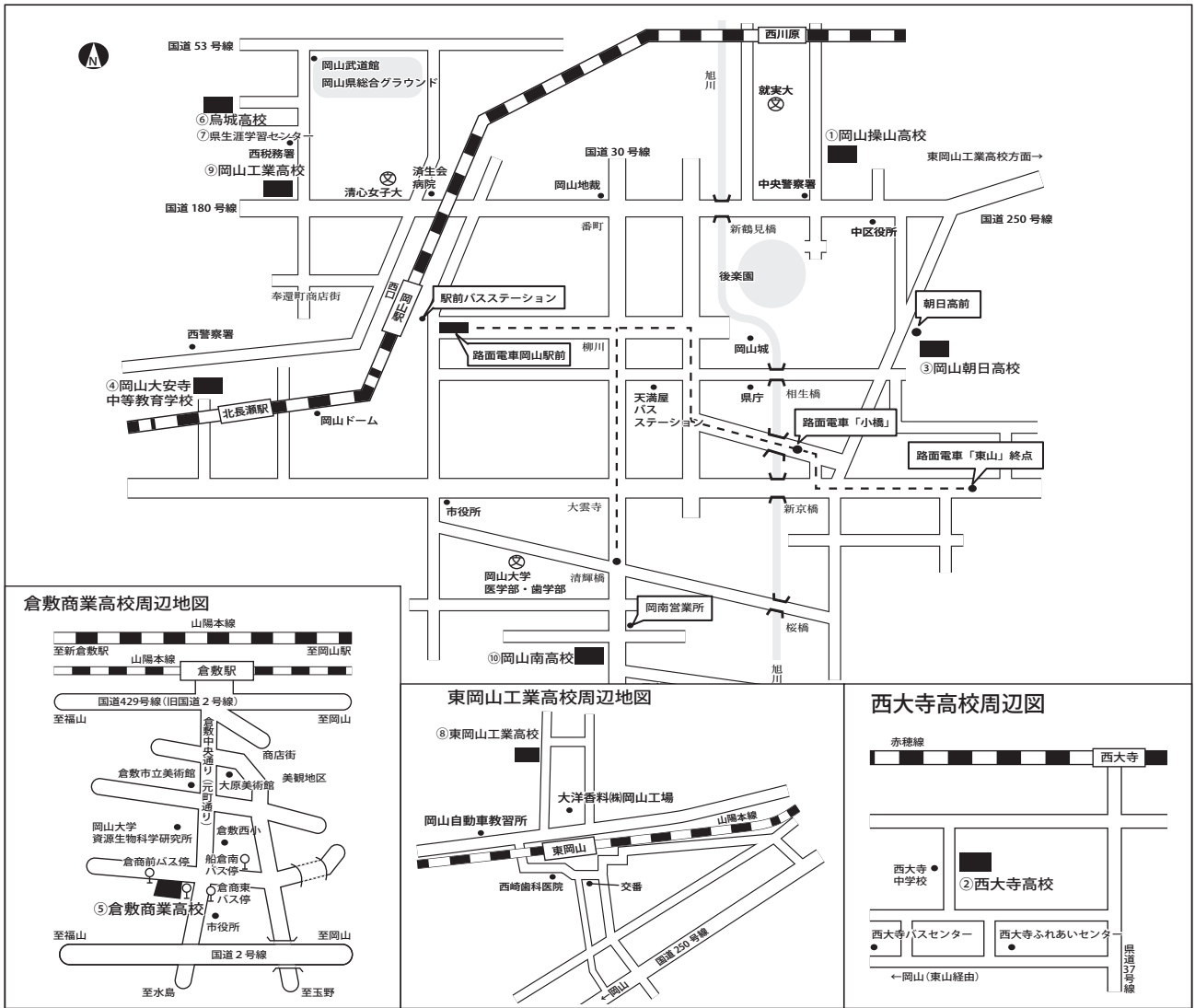
なお、教諭免許状所有者（旧免許状所有者）が特別免許状の授与を希望する場合、修了確認期限までに所有免許状の更新講習の修了確認を受けてください。（例えば、工業の特別免許状の授与を希望する人が公民の教諭免許状を所有している場合、修了確認期限までに、公民の免許状の更新講習の修了確認が必要。）

郵送又は持参による出願用チェック表

※次の各項目について、提出前にもう一度確認してください。

提出書類	チェック項目	チェック欄
受 験 願 書	受験区分欄は、該当するものについて適切に記入又は○を付けていますか。	
	自署欄は、氏名を自署し、記入年月日も記入していますか。	
	氏名のフリガナ欄は、氏名をカタカナで記入していますか。	
	特別選考出願者は、特別選考欄に記号を記入していますか。	
	年齢については、令和3年4月1日現在で記入していますか。	
	令和3年3月中旬以降の連絡先を記入していますか。	
	教員免許状欄の校種等・種類・教科・区分を適切に記入していますか。	
	司書教諭資格の有無欄は、該当するものを一つ○で囲んでいますか。	
	学歴・職歴・賞罰欄は、日付順に漏れなく記入していますか。	
	写真欄に写真を貼っていますか。	
受験登録カード	注意書き・記入例に従って適切に記入していますか。	
自己推薦書	校種・職種等欄は、該当するもの一つを○で囲んでいますか。	
受 験 票	63円分切手を貼っていますか。	
	校種等・枠・教科（科目）・氏名を正しく記入していますか。	
	表面の氏名欄は、○○様になっていますか（「様」を「行」等に直さない）。	
	写真欄に写真を貼っていませんか。（出願時には写真を貼らず、受験票の交付を受けた後に、受験願書に貼った写真と同じものを貼ってください。）	
特 別 の 選 考 他	特別選考出願者は、特別選考調書、証明書（写し）等の必要な書類を同封していますか。	
	身体に障害のある者を対象とした選考の出願者は、身体障害者手帳の写しを同封していますか。	

会場案内図



会場	主な交通機関	実施試験
①岡山県立岡山操山高等学校 岡山市中区浜 412	J R 山陽本線（・赤穂線）西川原駅から徒歩約 10 分	第 1 次試験
②岡山県立西大寺高等学校 岡山市東区西大寺上 2-1-17	J R 赤穂線西大寺駅から徒歩約 8 分	
③岡山県立岡山朝日高等学校 岡山市中区古京町 2-2-21	J R 岡山駅前から岡電バス「岡電高屋」行「朝日高前」下車 徒歩約 3 分	
④岡山県立岡山大安寺中等教育学校 岡山市北区北長瀬本町 19-34	J R 山陽本線北長瀬駅から徒歩約 5 分 J R 桃太郎線（吉備線）大安寺駅から徒歩約 20 分	
⑤岡山県立倉敷商業高等学校 倉敷市白楽町 545	J R 倉敷駅から両備バス（大高経由）「倉商前」下車徒歩 1 分、 両備バス（吉岡経由）「倉商東」下車徒歩 3 分 J R 倉敷駅から徒歩 15 分	第 1 次試験 及び 第 2 次試験
⑥岡山県立烏城高等学校 岡山市北区伊島町 3-1-1	J R 岡山駅運動公園口（西口）から徒歩約 30 分 J R 岡山駅運動公園口（西口）から岡電バス「中央病院」行 「京山入口」下車徒歩約 8 分	
⑦岡山県生涯学習センター 岡山市北区伊島町 3-1-1		第 2 次試験
⑧岡山県立東岡山工業高等学校 岡山市中区土田 290-1	J R 山陽本線（・赤穂線）東岡山駅北口から徒歩約 3 分	
⑨岡山県立岡山工業高等学校 岡山市北区伊福町 4-3-92	J R 岡山駅運動公園口（西口）から徒歩約 20 分	
⑩岡山県立岡山南高等学校 岡山市北区奥田 2-4-7	J R 岡山駅前から岡電バス「労災病院」、「岡南飛行場行き」、「大東」 「中央市場」、「築港元町」行「岡南営業所」下車徒歩約 5 分	

